

人口ビジョンを踏まえた今後の考え方

本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にあたる「オール甲賀で未来につなぐ！チャレンジプロジェクト」については、人口ビジョンを踏まえ、下記の考え方で取り組む必要があります。

1. 前提条件**(1) 人口推計はどのような予測より確度が高い。**

- 2040年までは「確実」に人口が減ることを前提とした、堅実な「守り」の施策を重視しなければならない。
- 中央リニア新幹線(2037年)、名神名阪連絡道路(時期未定)など、2040年をターニングポイントとする「攻め」の施策の準備を開始し、併走させるべきではないか。

(2) 合計特殊出生率の劇的な改善は見込めない。

- 若年女性の数は2065年まで減り続けるため、仮に出生率が急上昇しても、人口総数の増加にはつながらない。また、相対的に団塊の世代の自然減が大きく、自然増とはならない。
- 他自治体の事例を見ても、子育て・移住に係る「現金給付」は、出生率の改善につながりにくく、継続性に課題があるため、「現物給付」を基本と考えるべきではないか。近隣市町との消耗戦は避けるべきではないか。

(3) 外国人転入の流れは加速する。

- 2019年4月施行の出入国管理及び難民認定法等の改正(新たな在留資格の創設等)に伴い、市内ものづくり企業におけるICTによる職業代替が進むまでは、一定の外国人の増加が見込まれる。
- 「日本人の転出」を「外国人の転入」で補う傾向は、今後ともつづくのではないか。

(4) 学業、就業による若年層の一時的な転出傾向は変えることはできない。

- 夢や希望を追い、市外に転出する若者を引き止めればよいというものではない。
- むしろ、年少期からシビックプライドを高めるとともに、市内の魅力的な「しごと」を伝えるなど、一度出て行った若者がUターンを志す取り組みが必要ではないか。

(5) 「関係人口」「活躍人口」は増やすことができる。

- 生産年齢人口が若い世代を中心に大きく減少していくことは避けられない。女性や高齢者、外国人、障がい者を含め、地域社会で多様な人材が生涯活躍する、いわゆる「活躍人口」を重視した取り組みを進めなければならない。
- 定住人口(居住者)、交流人口(観光客)とは異なり、地域「外」の者が継続的に多様な形で地域に関わる「関係人口」を創出・拡大することはできるのではないか。

2. 地方創生の基本的な考え方

(1) 「攻め」と「守り」で、急激な人口減少を避ける

人口減少の対策には、出生率の向上によって人口の増加と人口構造の安定化を図る「積極策」と、避けられない人口減少に向き合い、地域社会の仕組みを今後の人口構造の予測に即したものに再構築する「調整策」があります。

本戦略では、これら「積極策」「調整策」を両輪として、併せて推進することを重視します。

(2) 若い世代の希望に応える、多様な選択肢をつくる

甲賀市の将来を担う市民が、自分たちが持つ「希望」をかなえることができるまちをつくるのが、現在の甲賀市をあずかる私たちの使命です。

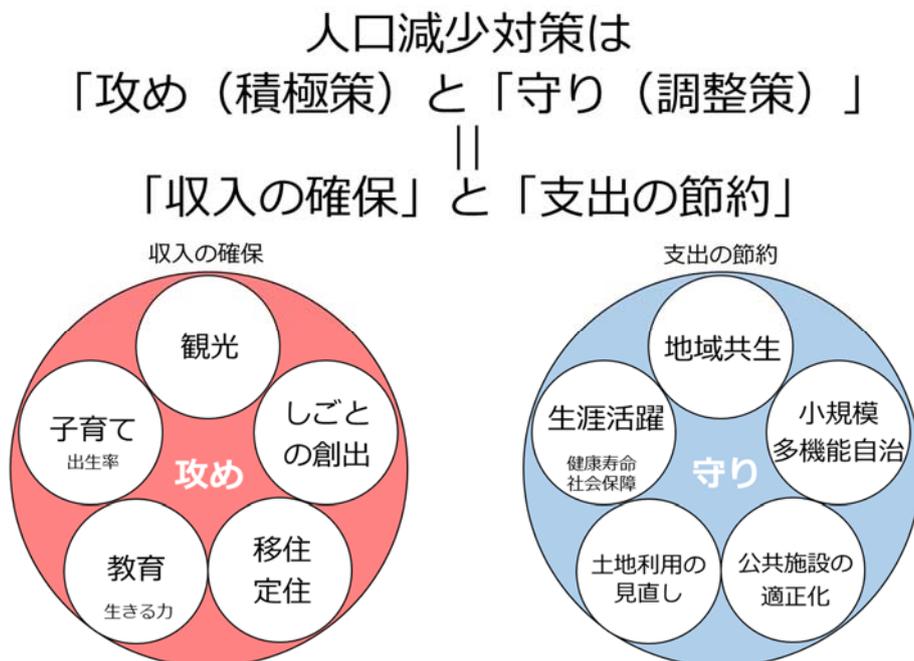
本戦略では、甲賀市に住み続けたい・移り住みたい、このまちで働きたい、結婚したい、子どもを産み育てたいという、次世代の「希望」に応えていくことを重視し、社会環境に選択肢の幅を広げていきます。

(3) 地域資源を活用し、地域ごとの魅力創生を図る

約482キロ平方メートルという広い面積の甲賀市には、人口が増加している地域と過疎が進んでいる地域があり、人口動向に伴う地域環境の変化も一様ではありません。もちろん、歴史的・文化的な特性も地域ごとに様々です。

それぞれの地域では、地域の特性・実情を踏まえた主体的な取り組みによって、地域にある様々な資源を発見・再発見し、取り結び、活かして、これからの各地域、市全体の発展につないでいく必要があります。

本戦略では「今ある地域資源（あるもの）」を最大に活かし、「今ない地域資源（ないもの）」については、それを見つけるチャンスが残されていると捉えて、新たな地域資源を見つけて活かすチャレンジを重視します。



3. チャレンジプロジェクトを横断する新たなキーワード

【共通】

1. 全世代活躍（我が事・丸ごと、女性、外国人、障がい者、人生100年時代）
2. 地域交通（地域自主運行、鉄軌道、歩行者の安全対策、職住近接）
3. 自然災害への対応（南海トラフ、国土強靱化、ゲリラ豪雨、リダンダンシー）
4. 未来技術の活用（ICT、Society5.0、働き方改革、生産性の向上）
5. SDGs（持続可能な開発目標、国、県の施策との連携）

【オール甲賀で未来につなぐ チャレンジプロジェクト（チャレンジ10）】

まち	ひと	しごと
4. シティ・セールス推進プロジェクト	1. 生きる力・キャリア教育プロジェクト	5. 新産業特区プロジェクト
8. 空きキャパシティ活用プロジェクト	2. 子育て世代応援プロジェクト	6. 女性、若者の活躍・定住プロジェクト
9. 中山間地域再生プロジェクト	3. 保育の「質」向上プロジェクト	7. 甲賀流観光振興プロジェクト
	10. 地域・世代まるごと包括ケアプロジェクト	

【具体的な取り組み】

1. 外国人を「一緒に暮らす生活者」として支える取り組み
2. 貴生川駅周辺における都市機能の誘導
3. 民間による住宅開発
4. 新たな企業誘致（工業団地）の検討
5. リニア中央新幹線、名神名阪連絡道路の開通を見据えた取り組み